

12月定例会 中川新市長に施政方針を問う！

令和3年度一般会計補正予算など56議案を審議

12月定例会は11月30日から12月14日まで、15日間の会期で開催し、その後、子育て世帯への臨時特別給付金の支給に係る補正予算案が二度にわたって提出されたことから、2回の会期延長を経て12月17日に閉会しました。令和3年度一般会計補正予算をはじめとする55議案を可決・承認した一方、上越市副市長定数条例の一部改正については否決しました。

(議案と審議結果は、8ページをご覧ください。)

総括質疑

総括質疑は、議案に対する概要と疑問点を解明するために行われます。今定例会では、久比岐野、政新クラブ、公明党、創風、みらい、日本共産党議員団、会派に属さない議員(宮越馨議員)が総括質疑を行いました。

 副市長の定数を2人から4人に増員する条例改正案が提案されました。

副市長を4人体制とする理由は？

問／重要な政策テーマの推進体制を構築するため副市長を4人にするとしているが、2人ではできないということなのか。

答／トップリーダーとして市政運営を担い、当市に山積する様々な課題に対応していくためには、市政全般を統括する副市長と、3つの重要な政策テーマをそれぞれ担当する副市長が、現場の先頭に立って陣頭指揮を執りながら、強力なリーダーシップを発揮していくことが不可欠と考えていることから、この度、条例改正を提案した。

 その他、質疑の中では次のような意見がありました。

・本来であれば、しっかりと時間をかけて議論し、今の副市長の定数では足りないということが市民や議員にも分かるように説明できる段階になってから提案するべきである。
・2人純増ということだが、現在配置している理事や部長との関係をどう考えているか。屋上屋を重ねるだけではないか。
・市職員等の考え方を聞かないうちに、市長の思いだけで進めようとしていると市民は受け止めかねない。独断で進めるわけではないと市長から説明していただきたい。

※関連記事3、7ページ

カレンダー



- ▼11月30日(本会議)
 - ・市長提案説明、総括質疑(7人)
 - ・先行議決議案の3常任委員会、採決
- ▼12月1日～6日(委員会)
 - ・4常任委員会
- ▼12月7日(本会議・委員会)
 - ・追加議案の市長提案説明、2常任委員会、採決
 - ・一般質問(3人)
- ▼12月8日～13日(本会議)
 - ・一般質問(25人)
- ▼12月15日(本会議)
 - ・4常任委員長報告、討論(4人)、採決(可決等35件、否決1件)
- ▼12月17日(本会議・委員会)
 - ・追加議案の市長提案説明、2常任委員会、採決



中川新市長 市政運営に際しての所信

社会情勢は、人口減少やコロナ禍による影響が依然として続くなど厳しい状況にあり、社会は大きな変革の時を迎えている。公約実現に当たっては、職員の能力向上が欠かせないことから、人事改革プロジェクトを立ち上げる。また、市民との対話集会をはじめ、民間からの政策諮問委員によるアイデアも活用する。

市政運営に当たっての基本的な考え方の一端を述べたが、当市の魅力を全国、世界に発信し、明るく、楽しく、前向きな市政を作るための具体的な施策は、新年度予算の提案の際に合わせて述べたい。